

## 私のすすめるこの1冊

湯川 夏子（家政科 教授）

### 『終止符のない人生』

反田恭平（著）

これは、2021年10月におこなわれたショパン国際ピアノコンクールにて日本人として51年ぶりの2位という快挙を成し遂げたピアニスト、反田恭平さんの軌跡と未来を綴った書です。

コンクールでは、その小太りでどこかユーモラスな風貌と、髪を後ろでくっつと束ねた「サムライ」ヘアが実に特徴的でした。その体格は大会場で音を響かせるための肉体改造の結果で、髪型は聴衆の興味を引き付ける演出だったと知ります。また、自身のレーベル設立、コロナ禍でのいち早い有料配信など、音楽家の範疇に留まらない活躍に興味を持ち、本書を手に取りました。

音楽家といっても、音楽一家で育ったわけではありませぬ。3歳のとき、家に投げ込まれた音楽教室のチラシがきっかけで、ピアノを習いだします。その後、11歳でサッカー選手になる夢にやぶれ、ピアニストを目指します。才能に恵まれるも、音楽高校への進学は父親に反対され、コンクール第一位を3つ勝ち取るという実績で納得してもらいます。ショパンコンクールへ至る、音楽への熱い情熱と才気あふれる様が生き生きと綴られます。

その中で、モスクワ留学の様子は、実に壮絶です。最低気温がマイナス15-20℃まで下がる極寒の地で、たびたび起こる断水、給湯器や暖房も故障気味なボロボロの寮生活。ロシア語をがむしゃらに勉強し1年間で習得、合間にピアノを猛練習し、主席で本科への進学を果たしています。

また本書の読みどころは、ショパンコンクールの様子で

す。失敗すればこれまで築き上げた実績を損なうリスクもある中、3度の予選を経てファイナル（本選）まで約3週間の戦いに挑んだ反田さんの決断と苦悩がありのままに記されています。各ステージでのプログラム構成の意図や、演奏時の心情を知ることができますので、この解説を読み、動画サイトで演奏を聴くことも本書の楽しみ方の一つでしょう。「ファイナルでコンチェルトを弾きたい」という長年の夢がかない、「全身全霊で弾き切った」という渾身のピアノ協奏曲第一番の演奏をぜひ聴いてみてください。会場のお客と共に、思わずブラボーと立ち上がって拍手を送りたくなります。

さらに本書では、今後の大きな夢が二つ語られています。一つは指揮者になること。もう一つは音楽学校を造ること。次の夢を実現するために前進し、これがゴールではない、まさに「終止符のない人生」です。一人の音楽家の半生の物語というだけでなく、夢を実現するという強い信念を持ち、悩みながらも果敢に未来を切り開いていく姿は、大きな刺激を与えてくれます。

ちなみに、反田恭平さんは、羽生結弦選手や大谷翔平選手と同じ1994年生まれ。コンクールの時は27歳です。今後どのような活躍をみせてくれるのか、楽しみでなりません。音楽好きの人も、これまであまりクラシックを聴いていない人もぜひこの本を読んで、反田さんの音楽を楽しんでみてください。

## 第34回 「うたとおはなしの会」報告



令和4年10月1日に、第34回「うたとおはなしの会」が開催されました。「うたとおはなしの会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元年12月の開催以降、長らく活動を休止してまいりましたが、再開を望む地元の皆様からの熱いご要望にお応えし、1回につき15組限定×2回公演という形で開催の運びとなりました。当日は秋晴れの清々しい天候にも恵まれ、久しぶりに子どもたちの笑い声が会場に戻ってきました。

まず「うたとおはなしの会、はじまるよ」の掛け声に続いて、学生たちが「どんぐりころころ」を歌いながら登場すると、少し緊張ぎみだった子どもたちの表情もぱっと明るくなり、お母さんと一緒に手をくるくる動かしたり、一緒に歌を口ずさむ子どもの姿がありました。続くパネルシアター「きぬさやくんとべいなすくん」は、自分に似合う帽子を探しにでかけたきぬさやくんとべいなすくんが、いろんな野菜のへたや葉っぱを被ってファッションショーを繰り広げるお話です。きぬさやくんとべいなすくんが新しい帽子を被って「どう？この帽子、似合ってる？」と学生が問いかける度に「おかしい」「可愛い」「にあってる！」など、子どもたちはにこにこしながら元気に答えていました。

パネルシアターを楽しんだ後、楽屋からきれいな笛の音が聞こえてきて「おや、何だろう」と、音になる方に目を向けると、楽しい音楽を奏でながら動物たちに扮した音楽隊(e-project ドレミファそったくん)が入場してきました。まず、動物たちが「山の音楽家」を歌いながら自慢の楽器を紹介する場面では、ヴァイオリン、フルート、クラリネットなど、初めて見る本物の楽器の演奏に子どもたちは目を輝かせながら聞き入る姿が見られました。そして、4匹の動物による「もりのくまさん」のマリンバパフォーマンス

スを楽しんだ後、「ラデツキー行進曲」や「ドラえもん」では手拍子や好きな打楽器で演奏に参加するなど、心と身体を動かして音楽を満喫することができました。

そして「十五夜さんのもちつき」で身体を動かしたあと、最後の演目、人形劇では「おむすびころりん」を上演しました。おじいさんの手から転がったおむすびが穴に落ちてしまい、穴の中から「おむすびころりん、すっとんとん」という可愛い歌声が聞こえてくる場面では、子どもたちもお母さんやお父さんの膝の上で唱え言葉のリズムに合わせて身体を弾ませる姿が見られました。そしてねずみたちが餅をつく場面では、事前に覚えた餅つきの手遊びに挑戦するなど、子どもたちは演じる学生と一体となってお話を楽しんでいました。



終了後は学生手作りのティッシュケース(ねずみとおむすびのアップリケ付き)をお土産にもらい、会場の外では「木の実はかせによるmini講座」(理学科、藤浪理恵子研究室の協力)に参加して、どんぐり拾いを楽しむ親子も多く見られました。参加者アンケートでは、「帰り道で子どもが、おむすびころりんを何回も嬉しそうに唱えていました」「久しぶりに、親子でとても楽しいひと時を過ごすことができました」「また是非、参加したいです」など、好評をいただきました。コロナ禍で新しい様式での開催となり、改善すべき課題は多々ありますが、附属図書館をはじめ音楽科、理学科など複数の学科の先生方のご協力のお蔭で、今回の「うたとおはなしの会」が無事に開催できましたことに、心から感謝いたします。(幼児教育科 平井恭子)



**児童書コーナー(南館1階)**

幼児教育科主催  
**えほんのともい**

今月の絵本カード(学生作)  
『どんぐりむらのはんやさん』  
作・絵: なかや みわ  
出版社: Gakken

※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

## 京都教育大学 それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

### 第33回の報告

YouTubeで公開されています。

<https://www.youtube.com/watch?v=ironesC1J0A> (YouTube公開のみとなります。)

【講師】赤松 大輔 (教育学科 講師)

【テーマ】子どもの学びを科学するー教育心理学ー

※今までの回も視聴できますので、ぜひご覧ください！

主催：「現代のニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館



### 企画展示室(北館1階)

#### 第4回教育展「先生を目指した女性たちー京都府女子師範学校の歩みー」

京都教育大学のルーツのひとつである京都府女子師範学校について、そこで行われた教育や地域社会との関わりを中心にをご紹介します。

【会期】11月11日(金)～2023年1月10日(火)

※日曜・祝日、および12/3(土)、12/24(土)、年末年始の12/28(水)～1/4(水)は休館

※11/13(日)は藤陵祭のため開館、11/26(土)は大学入試のため学外者入館不可

【時間】9時～17時または9時～21時 (附属図書館の開館日時に準じる)

【会場】附属図書館 北館1階企画展示室

【入館料】 無料



#### 講演会

【日時】12月10日(土)

【会場】附属図書館北館2階 研修・セミナー室1

【講師】多和田真理子氏 (國學院大學准教授)

【テーマ】近代信州の女性教員たち

※入場無料

※申込方法等詳細は後日 HP に掲載します。

### 学修相談カウンター「ミニ講座」のお知らせ

大学院生の学修支援員による、ミニ講座を実施します。

各自の得意分野や研究紹介、教員採用試験対策の事例紹介など、さまざまな企画を予定していますので、ぜひお問い合わせの上お越しください！

【11月の予定】※12月以降も実施予定です

11月15日(火) 「私の教員採用試験対策」

11月18日(金) 「社会系科目の授業構成論ー森分孝治の授業観を参考にー」

11月25日(金) 「Excelの基本的な使い方講座」

場所：北館2階ラーニング commons

時間：各日 13:20～13:50

※申込不要・入退室自由

学修相談も受け付けています！

スケジュールや担当分野などはホームページ等でご確認ください。



### eBookの試読ができます

電子書籍 Maruzen eBook Library (丸善雄松堂)の試し読みができます。

【実施期間】10月17日(月)～12月16日(金)  
学術書など約7万点が読めますのでぜひこの機会にご利用ください。

好評開催中！

第10回 京都・大学ミュージアム連携 スタンプラリー  
2023年3月25日(土)まで  
※本学は連携参加大学です。

### 教育資料館 まなびの森ミュージアム

【11月の開館日時】

※7日(月)、21日(月)、28日(月)  
14:00～17:00

※11日(金)、12日(土)、13日(日)  
10:00～16:00 (藤陵祭)

今月の逸品 (10・11月)

『鳥と語る』

木代喜司 (京都教育大学 名誉教授) 作

展示場所：教育資料館



教育資料館 まなびの森ミュージアム  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

## 論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **原田 信一** (産業技術科学科 教授)

### 「中学校技術科のものづくり学習における生徒の原因帰属 - 小規模校での実践 -」

原田 信一・畑 里佳子

京都教育大学紀要 2022, No. 140, pp. 55-70  
URI: <http://hdl.handle.net/20.500.12176/9679>

教師は子供の成長を願い、その資質・能力育成のため、日々の教育実践の質を向上させようと努力していますが、それを実現するためには、教育実践を客観的に問い直す必要があるのではないのでしょうか。学習活動の中で、生徒は様々なつまづきや失敗を経験することがありますが、教師は、それらに対し適切に支援することが求められます。では、生徒が失敗を訴えてきたとき、教師はどのようにすればよいのでしょうか。そこで本研究では、どのような支援を行えば良いかを、中学校技術科の内容「A 材料と加工の技術」において、「帰属理論」を基軸に検討しました。ものづくり学習における失敗体験を、「失敗した時、原因を見つけたり考えようとしたりする失敗体験 (A型)」と「失敗しても原因を見つけず、何も考えない失敗体験 (B型)」に分け、両者による知識定着の違いを検証したところ、A型の失敗体験数と技能知識の得点との間に有意な相関がみられ、B型の失敗体験数と技能知識の得点には議論に値する相関は得られず、A型の失敗体験は、教訓が得られた失敗体験と考えられることが分かりました。つまり、ものづくり学習において失敗の教訓が得られることで、その後の知識の定着がより促進される可能性が示唆されました。

このように「帰属理論」は、日常生活のなかにおいて、数多く見出せる考え方です。「何でこうなったのか」を私たちは考えていくことも大切ではないのでしょうか。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 140 号に掲載されています。

※京都教育大学リポトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/> に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2022年11月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

11/2 館内整理日  
11/11-13 藤陵祭  
11/26 推薦入試(学外者利用不可)

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

2022年12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

12/3 推薦入試  
12/24-1/5 冬季休業

●京都教育大学附属図書館ホームページ  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>  
(QRコード→)



京教図書館 News No.266 (2022年11月号)  
発行日:2022年11月1日  
編集発行:京都教育大学附属図書館  
問い合わせ先: [library@kyokyo-u.ac.jp](mailto:library@kyokyo-u.ac.jp)

国立大学法人  
**京都教育大学**  
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION